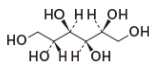


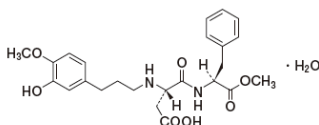
# 104-119

## 問題文

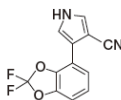
A



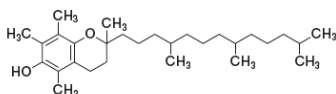
B



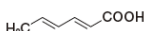
C



D



E



1. Aは、輸液成分としても利用される酸化防止剤である。
2. Bは、アスパルテームと同様、ペプチド結合をもつ甘味料である。
3. Cは、かんきつ類の輸入品に使用される保存料である。
4. Dは、金属封鎖型の酸化防止剤である。
5. Eは、酸性で効果の高い保存料である。

## 解答

2, 5

## 解説

選択肢 1 ですが

A はソルビトールです。ソルビトールは甘味料として用いられます。「酸化防止剤」ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

B はアドバンテームという、アスパルテームの誘導体です。

選択肢 3 ですが

柑橘類の輸入品に用いられるのは「防カビ剤」です。よって、選択肢 3 は誤りです。ちなみに C はフルジオキシソニルという防カビ剤の一種です。

選択肢 4 ですが

D はビタミン E です。還元剤としての酸化防止剤です。金属封鎖型の酸化防止剤といえば、EDTA などです。COOH 基がニョキニョキ伸びてる点が特徴です。

選択肢 5 は妥当な記述です。

E はソルビン酸です。

以上より、正解は 2,5 です。